2026 年 11 月 19 日

報道関係者各位

プレスリリース

株式会社ヴィッツ

（証券コード：4440）

株式会社 ROBOTMAN の「CES 2027 Japan パビリオン」出展に参画

フィジカル AI で「人に触れるロボット」の実用化へ

株式会社ヴィッツ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：服部博行、以下「ヴィッツ」）は、株式会社 ROBOTMAN（以下「ROBOTMAN」）が、日本貿易振興機構（JETRO）の「CES 2027 Japan パビリオン」出展企業として採択されたことを受け、青山学院大学理工学部知技能ロボティクス研究室（田崎研究室）とともに、ROBOTMAN が取りまとめるロボットマッサージサービスの展示に参画します。

CES は、米国ラスベガスで毎年開催される世界最大級のテクノロジー見本市です。本展示は、AI がロボットの「身体」を通じて現実世界で働く「フィジカル AI」の中でも、人の身体に直接触れるという難易度の高い領域に挑む取り組みです。今回 CES 2027 で紹介する展示は、ROBOTMAN が構想するロボットマッサージサービスの将来像を、来場者に体験いただくために構成した CES 向けのデモ版です。青山学院大学が培ってきたマッサージロボットの身体状態計測・接触制御技術を基に、ヴィッツの対話 AI、安全・セキュリティ、システム統合の技術を組み合わせ、一連のサービス体験として構築します。3 者それぞれの強みを生かし、フィジカル AI 時代の新たなサービスロボットの可能性を発信するとともに、海外市場におけるニーズの把握、事業・技術パートナーとの接点創出、今後のサービス開発につながる知見の獲得を目指します。

背景：フィジカル AI と、「人に触れるロボット」実用化の課題

近年、生成 AI の進化を背景に、AI がロボットなどの身体を通じて現実世界で作業を行う「フィジカル AI」への注目が世界的に高まっています。中でも、マッサージのように人の身体に直接触れて働くロボットは、繊細な制御に加え、高い安全性や利用者との信頼関係が求められるため、実用化のハードルが高い領域です。ROBOTMAN は、ロボットによる新たなマッサージ体験を提供するサービスの事業化を推進しており、その実現に向けて、青山学院大学が培ってきたマッサージロボットの身体状態計測・接触制御技術と、ヴィッツの実用化技術を組み合わせています。

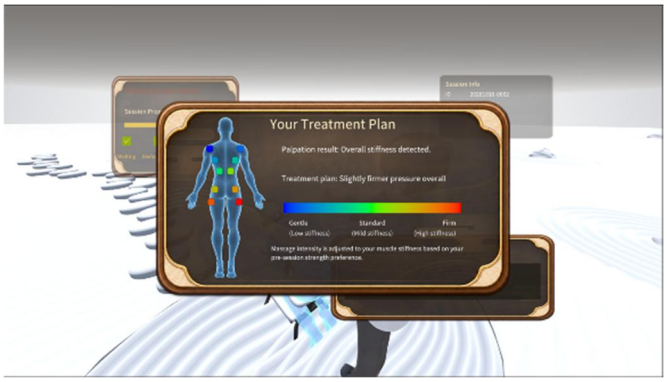
研究段階の技術を、実際の利用者に継続して提供できるサービスへ発展させるためには、ロボット制御だけでなく、利用者とのコミュニケーション、安全性への配慮、個人情報の保護、複数の機器・ソフトウェアを一体として動作させるシステム設計が必要となります。
ヴィッツは、本取り組みにおいて、対話 AI、安全・セキュリティ、システム統合などの技術を提供し、青山学院大学の研究成果とROBOTMANのサービス構想をつなぎ、実用化を支援します。研究段階の技術を「使い続けられるサービス」へと仕上げる工程は、フィジカル AI の事業化において欠かせない役割です。今回の CES 2027 出展を、3 者の技術と知見を世界へ発信し、今後の事業化に向けた可能性を検証する機会と位置付けています。

ROBOTMAN の考える新しいロボットマッサージサービスについて
本サービスは、ロボットが利用者の身体の状態を確かめながら施術を行い、利用者との対話を組み合わせることで、これまでにない新しいマッサージ体験の提供を目指すものです。
利用者の状態や要望を確認しながらロボットが動作し、施術中も利用者とコミュニケーションを取ることで、一方的に決められた動きを繰り返すのではなく、人の施術者と接するような自然で安心感のある体験の実現を目指します。

CES 2027 で紹介する展示デモ
CES 2027 で紹介する展示は、青山学院大学の研究成果を紹介する展示用コンセプトモデル「HANARE」（※1）を踏まえ、展示環境や体験時間に合わせて機能と構成を絞ったデモンストレーションを紹介します。将来の製品・サービスの全機能を実装した完成版ではありません。事前ヒアリング、ロボットによる接触・触診、取得情報や利用者の希望に応じた施術、体験結果の表示までを、一連の流れとして紹介する予定です。



画像1： CES 2027 出展デモイメージ





画像2、3： CES 2027 出展デモ　VR 画面イメージ

3 者の連携体制と役割

参画者	主な役割
株式会社 ROBOTMAN	サービス企画・事業化を担い、利用者に提供する体験や事業モデルの構築を推進します。また、CES 2027 への出展主体として、国内外における事業・協業パートナーとの連携機会の創出を目指します。
青山学院大学	人の心身状態に応じて施術技能を発揮するマッサージロボットシステムの研究を担い、その成果を本展示の技術的基盤として提供します。
株式会社ヴィッツ	青山学院大学の身体状態計測・接触制御技術と、ROBOTMAN のサービス構想を、一つの体験システムとしてつなぐ設計・統合を担います。あわせて、利用者との自然な対話、人の近くで動作するロボットの安全性、個人情報を守るセキュリティなど、研究成果をサービスとして成立させるための実用化を支援します。

ヴィッツの技術的な貢献

（1）自然なコミュニケーションを支える対話 AI

利用者が話しかけることで AI が音声で応答し、会話の途中でも利用者の発話を受け付けるなど、人と会話するような自然なコミュニケーションの実現を目指します。また、AI の判断やロボットの動作内容について、利用者に分かりやすく説明・確認する仕組みの検討を進めます。

(2)人と情報を守る安全・セキュリティ

人の近くで動作し、身体に触れるロボットには、利用者を傷つけないための安全設計が不可欠です。ヴィッツが有する安全設計やロボット制御の知見を活用するとともに、身体状態などの個人情報を適切に扱うためのセキュリティ対策を組み合わせ、安全・安心なサービス基盤の構築を支援します。

(3)サービス全体をつなぐシステム統合

ロボット、センサー、AI、利用者向け画面、データなど、異なる複数の要素を連携させ、一つのサービスとして機能させるためのシステム設計・統合を行います。大学で生まれた研究成果を、継続的に利用できるサービスへ近づけるため、ソフトウェアの品質や保守性(長期にわたって修正や改良を行いやすいこと)も考慮した開発を支援します。

CES 2027 出展の目的

CES 2027 への出展を通じて、ROBOTMAN の考えるサービスコンセプトに対する海外来場者の反応やニーズを把握し、今後のサービス開発および事業化に活用します。

- 海外市場におけるロボットマッサージサービスの受け入れられやすさ(受容性)と利用ニーズの確認
- 海外企業、研究機関、事業・技術パートナーとの接点創出
- 来場者から得た意見や評価の、今後のサービス開発への反映
- 対話 AI、安全・セキュリティ、ロボットシステム統合に対する市場関心の把握
- サービスロボット・フィジカル AI 領域における新たな協業可能性の探索

将来展望

ヴィッツは、本取り組みを通じて、人とロボットが安全かつ自然に関わるための技術と、大学の研究成果を社会で利用できるサービスへつなげる知見を蓄積してまいります。

今後は実用化に向けた支援を継続するとともに、CES 2027 で得られる反応やニーズを踏まえ、対話 AI、安全設計、サイバーセキュリティ、システム統合を組み合わせた技術の活用可能性を検討します。また、マッサージにとどまらず、ヘルスケア、介護、生活支援、接客など、人とロボットが直接関わるサービスロボット領域へ展開し、成長が期待されるフィジカル AI 分野での新たな事業機会の創出を目指します。

3 者は、それぞれの強みを生かした産学連携を通じて、研究成果の社会実装と、人とロボットが共生する新たなサービスの実現に取り組んでまいります。

CES 2027 開催概要

展示会名：　CES 2027

開催期間：　2027 年 1 月 6 日（水）～1 月 9 日（土）（現地時間）

出展場所：　米国ネバダ州ラスベガス

Eureka Park　JETRO 「CES 2027 Japan パビリオン」

出展者名：　ROBOTMAN

■参照

※1 「HANARE」は、青山学院大学のマッサージロボット研究の成果を紹介する展示用コンセプトモデルです。将来の製品・サービスの名称や外観デザインを定めるものではありません。

詳細はこちら

■JETRO の出展社一覧の情報はこちら

■株式会社 ROBOTMAN の詳細はこちら

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヴィッツ

IR 担当窓口：佐藤・服部（孝） TEL: (052)-950-5868　Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp